

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」小倉南校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法定基準プラス 1.5 名の指導員を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		階段の手すり等はありませんが、テナントの構造上車椅子用のトイレがなく入り口からすぐに階段へとつながるためストレッチャーや車椅子対応が困難です。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	○			半期に一度職員の個別面談を行い、目標設定と振り返りを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			ガイドラインに従い保護者向けの事業所評価アンケートを年に一度実施しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			株式会社クラ・ゼミ、こどもサポート教室のHPにおいて年に一度各事業所の自己評価表を公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、第三者委員会は設置しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			(財)発達支援研究所の内部リンクにてサポート教室「きらり」独自の研修システムを構築しています。動画にて初任者研修を行うと共に、行政から案内のある虐待防止や感染症対策の研修に参加しています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			相談時の受付シート、体験時の利用者状況からアセスメントをとり、個別支援計画に反映させています。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		統一のアセスメントツールはありますが、未就学児や低年齢児対象の様式であるため初回の受付シートをアセスメントシートとして活用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児発管と指導員でケース会議を行い、お子様にあった支援プログラムについて協議する場を設けています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			一人一人の特性に合わせてプログラムを設定し、画一的な支援にならないよう配慮しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			お子様と担当指導員とで 1 か月間の予定や目標を決めることで、平日・休日の区別に応じた課題設定を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団個別を組み合わせ、お子様に合った課題の提供を行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝終礼時に支援内容の確認を行っています。

⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		同上
⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回、個別支援計画に基づいた視点で指導記録をとり、モニタリングやケース会議の際などに活用しています。

	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		3か月に1度モニタリング会議を開催し、必要に応じて支援内容の変更を行っています。※H30.12月以降は6か月に1度に変更
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		地域交流の機会の提供については、現在事業所内で模索している段階です。その他についてはガイドラインに則った支援を提供しています。
関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管及び担当指導員など、そのお子様の状況を適切に把握できている者が参画する体制を整えています。
	⑮	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		定期的に学校との情報共有やケース会議を行い、トラブルのないよう努めています。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在は該当するお子様がいませんが、重症心身障害児以外で医療的ケアが必要な場合は主治医等と協議を行い受け入れ可能かどうかの判断をいたします。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	連絡帳等を用いて情報交換し、必要があれば担当者会議を開催しています。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	障害福祉サービスへ移行するお子様は現在のところいませんが、情報提供の体制は整えています。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		(財)発達支援研究所との連携。行政等で行われる、虐待防止研修などへの参加を積極的に行っています。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在のところ、地域での活動機会はあまり提供できていません。近くの公園に行った際に、地域の他の子どもと交流することはあります。
関係機関や保護者との連携	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	北九州市自立支援協議会には子ども部会がありませんが、相談支援事業所の集まりが毎月第3木曜日に開催されているため、定期的に参加しています。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者が送迎に来られた際や連絡ノートを使用して連絡を取り合っています。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	送迎の際や、電話連絡の際に家庭での対応方法をアドバイスしています。ペアトレの知識について専門的なスタッフがいない為、現在研修や職員個々での勉強を行っています。
保護者への	㉔	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		事業所入り口付近に運営規定を掲示し、契約時に重要事項や利用者負担金についての説明を行っています。
	㉕	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		モニタリング説明時や個別支援計画変更時に、相談に応じる時間を設けています。それ以外でも要望があれば、子育ての悩みに関する相談を受ける体制を整えています。

説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	年に一度、保護者会を設定し交流を図る予定ですが30年度は小倉北校が中心となって開催したため、当事業所からの保護者参加は1名でした。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		管理者が苦情受付責任者となり、事故やトラブルの際には早急な対応を行っています。苦情が発生した場合には市役所にも報告し、その後の改善を図っています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	イベント時にはチラシを作成し、各家庭への配布を行っています。活動概要については月間予定表を用いることで保護者へ伝達しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		業務用PCはパスワードを設定し、個人情報ファイルは鍵のかかるキャビネットに保管しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者の仕事の都合により連絡が取りにくい場合は、連絡ノートを使用したり、就業時間後に連絡したりして合理的配慮を行っています。
非常時等の対応	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	文化科学館や、緑地などの機関には協力をいただいておりますが、地域交流のイベントなどは実施できていない為、地域との交流機会を増やしていきます。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	職員への周知は徹底出来ていますが、保護者へのこまやかな説明が出来ていません。書面や口頭での説明を通して周知を図ります。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月、防災訓練を実施しています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		初任者研修時や行政主催の虐待防止研修に参加し、職員にもフィードバックを行っています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在、身体拘束が必要なお子様はいませんが、今後必要が出てきた場合には、個別支援計画への明記と本人・保護者への説明を徹底します。また、身体拘束を行う際には①切迫性②非代替性③一時性を確保し慎重に行います。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	初回アセスメント時に必ずアレルギーの有無を確認しています。アレルギーがある場合には必ず職員に伝達し、おやつ提供時などに配慮するよう指導しています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ヒヤリハット発生時にはすぐに報告書を作成し、職員全体で把握できるよう掲示を行っています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」小倉南校

保護者等数（児童数） 27 回収数 14 割合 52 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	<input type="radio"/>			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか		<input type="radio"/>		通い始めたばかりで分かりません
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	<input type="radio"/>			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	<input type="radio"/>			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		<input type="radio"/>		
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	<input type="radio"/>			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	<input type="radio"/>			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	<input type="radio"/>			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			<input type="radio"/>	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		<input type="radio"/>		苦情がないのでわかりません
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	<input type="radio"/>			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	<input type="radio"/>			
非常時	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか		<input type="radio"/>		

等 の 対 応	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		○		
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	○			
満 足 度	⑱	事業所の支援に満足しているか	○			

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。